

1. 科目名 (単位数)	心理療法特殊研究 (2 単位)	3. 科目番号	PSMP8288
2. 授業担当教員	鈴木 康明		
4. 授業形態	演習、発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし		
7. 講義概要	<p>心理療法の種類は心理療法家の数だけある、といわれるぐらいメジャーなものからマイナーなもの、あるいは複数の療法を1つにまとめたものなど様々なものがある。この授業では、比較的メジャーなもの、あるいは歴史的にみて重要と思われるものについて解説する。</p> <p>その際、どのような心理療法であっても、対応することが社会的に必要な事柄である「死別の悲しみ」、特に身近な人を自死自殺で亡くした人へのかかわりに焦点をあてた展開を考えている。</p>		
8. 学習目標	心理療法の概要を理解し、あわせて「死別の悲しみ」へのかかわりについて理論的かつ具体的に考察できることを目指す。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	授業において、教科書・参考書を用い、レジュメを作り、発表してもらう。		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 特になし。</p> <p>【参考文献】 乾吉佑他編 「心理療法ハンドブック」 創元社 2006 年 石丸昌彦他編 「死生学のフィールド」 放送大学教育振興会 2021 年</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 学習目標を達成できているか</p> <p>○評定の方法 成績は、発表の内容とレポートと出席点を総合して評価する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	大学院では学問的研究を行うことを自覚し、学習したことを自身の実践や研究に活かすことを意識してください。		
13. オフィスアワー	授業の前後に行う		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1～4. テーマ	心理療法・心理支援とは (イントロダクション)		
【学習の目標】	心理療法・心理支援の本質について理解する。		
【学習の内容】	心理療法の歴史、種類、個々の内容、技法などの「概容・要点」について学ぶ。		
【キーワード】	心理療法の歴史、理論と技法、倫理、ICD10。		
【学習の課題】	上記の学習内容をふまえて、心理療法・心理支援のあり方を習得する。		
【参考文献】	乾吉佑他編 「心理療法ハンドブック」 創元社 2006 年		
【学習する上での留意点】	とくに心理療法・心理支援の「あり方」を理解すること。		
5～8. テーマ	代表的な心理療法・心理支援の理論と技法		
【学習の目標】	心理療法の代表的なものについて「理論と技法」を理解する。		
【学習の内容】	精神分析、認知行動療法、遊戯療法、イメージ療法、ブリーフセラピー、交流分析、臨床動作法、ナラティブセラピー、グループ療法、理性感情行動療法。		
【キーワード】	上記、学習内容の記載事項と同じ。		
【学習の課題】	上記の学習内容に記載されている、各種の心理療法の理論と技法の内容と、それぞれの共通性、相違点を習得する。		
【参考文献】	乾吉佑他編 「心理療法ハンドブック」 創元社 2006 年		
【学習する上での留意点】	とくに個々の心理療法の「理論と技法」を理解すること。		
9～15. テーマ	死別の悲しみへの対処		
【学習の目標】	死別の悲しみへの対処について実践を前提とした理解をする。		
【学習の内容】	死別の悲しみ、死別の悲しみへの対処について正確に理解する。		
【キーワード】	悲嘆、哀悼、個別性と独自性、自死、遺族		
【学習の課題】	上記の学習の目標・内容・キーワードをふまえて、心理療法の可能性と限界について考察する。		
【参考文献】	鈴木康明著 『自死遺族・遺児支援』 (石丸昌彦他編 「死生学のフィールド」 放送大学教育振興会 2021 年)		
【学習する上での留意点】	死生学の知見の自己学習		